

風呂掃除・風呂焚き(ほぼ毎日)、洗濯・洗濯干し・洗濯物たみ(最近遠ざかっている)。

以上がさしずめ私の「育メン度」でしょうか。共働きですが、家のことは妻が多くを受け持っていてくれています。感謝感謝。

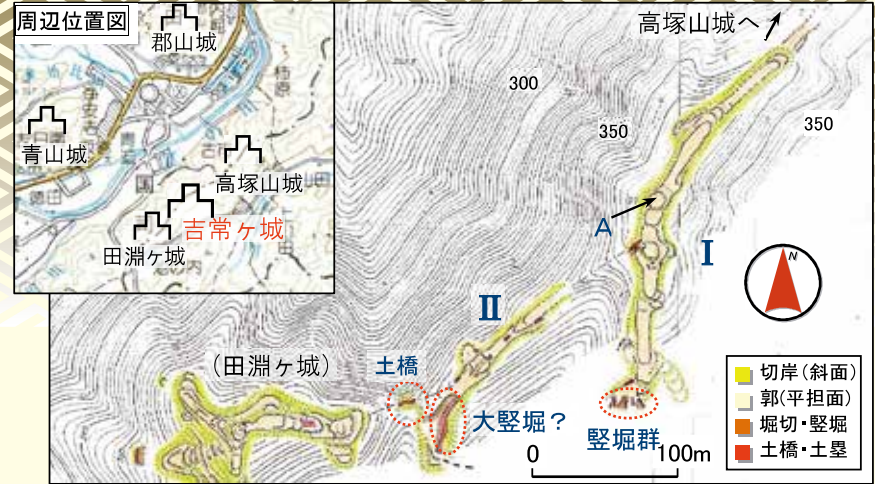
「風呂焚きつてボタンを押すだけでしょ。」と思ったあなた、我が家はまだまだそこまでハイテク化されておりません。(浮田)

今月の特集は女性が輝く社会へ。女性が輝けば、それを見る男性もうれしいものです。何事もお互いに助け合うということだと思えます。(森本)

社会で働く女性を見ると、私も頑張らなければと、よい刺激をもらいます。また、自分が働く場所があることに感謝し、この仕事を通じてもっと成長していかなければと、決意を新たにしました。(田村)

今月の表紙 美土里町に住む臈さん一家。家族のあたたかい雰囲気がとてもよく伝わります。

【登城ガイド】 標高/393m、比高/190m 史跡指定/未指定 城主/赤川氏? 所要時間/池の内池から35分



吉常ヶ城略測図(作図 秋本哲治)

立地：高塚山城と田淵ヶ城の間のなだらかな尾根上にあります。この連載では吉常ヶ城、田淵ヶ城、高塚山城と区分していますが、現地を見る限り全長2kmにわたり断続的に遺構が続いており、これらは一体的な城跡としてとらえるべきと思われます。

歴史：江戸後期の地誌類ではこの城と田淵ヶ城が国司右京又は赤川筑前の城とされていますが、大正期の『高田郡誌』では、赤川筑前の城とあります。赤川筑前とは赤川元秀のこと、重臣として元就や輝元に仕えました。

城跡：Aを中心に郭が南北に続くIと田淵ヶ城方面に続く西側のIIに分かれており、いずれも地形に沿った直線的な形状です。複数の箇所にも土壘や土橋、堅堀さらには石積の痕跡も見られますが、全体的には大雑把でそれほど防御を意識した構造ではありません。また田淵ヶ城との境には長い土橋があり、双方の連絡通路として使われていたようです。

考察：赤川氏の城といわれていますが、吉田盆地を見渡す尾根上に作られた長大な郭はとも毛利家臣であった赤川氏によるものとは思えません。造りの粗さから、1540年の郡山合戦時の大内軍の臨時的な陣地と考えられますが、主力部隊の陶隆房軍が到着した12月以前に大内軍の先鋒杉隆宣軍が布陣していた可能性もあります。



長い土橋(東側より撮影)



吉常ヶ城遠望(北側より撮影)

夫婦一緒に子育て♪



(今月の主な内容)

2~5 女性が輝く社会へ

6~9 平成26年度安芸高田市の仕事目標 平成25年度仕事目標の成果

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5612 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/